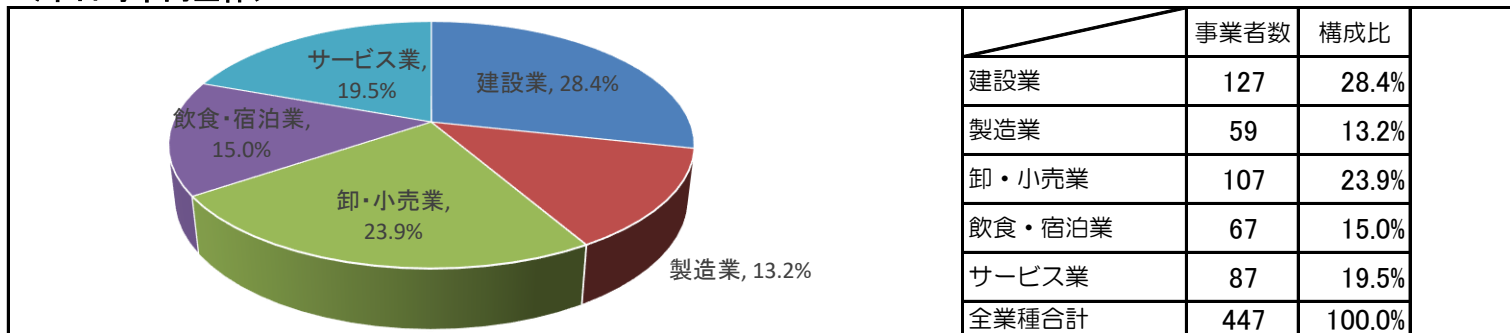


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R2.7.1~R2.9.30) 川西地区

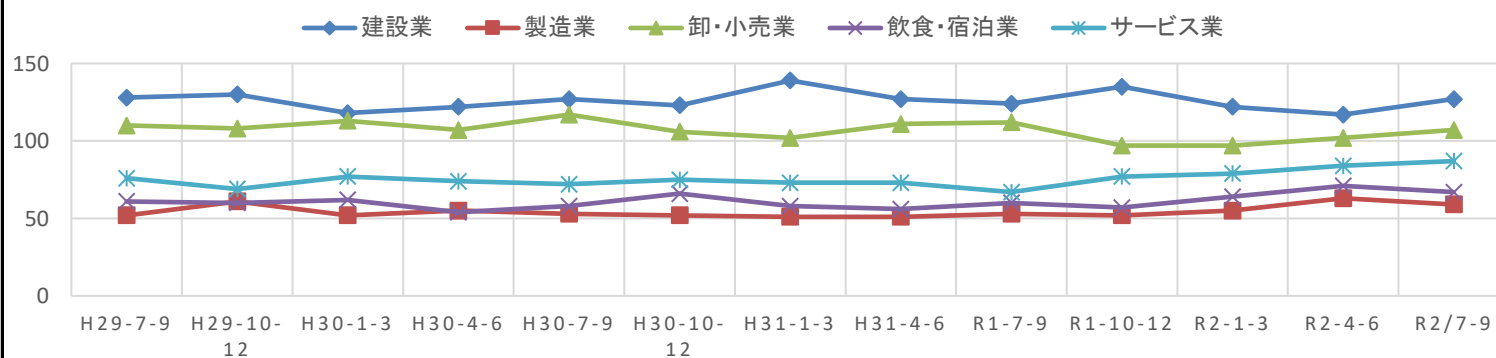
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



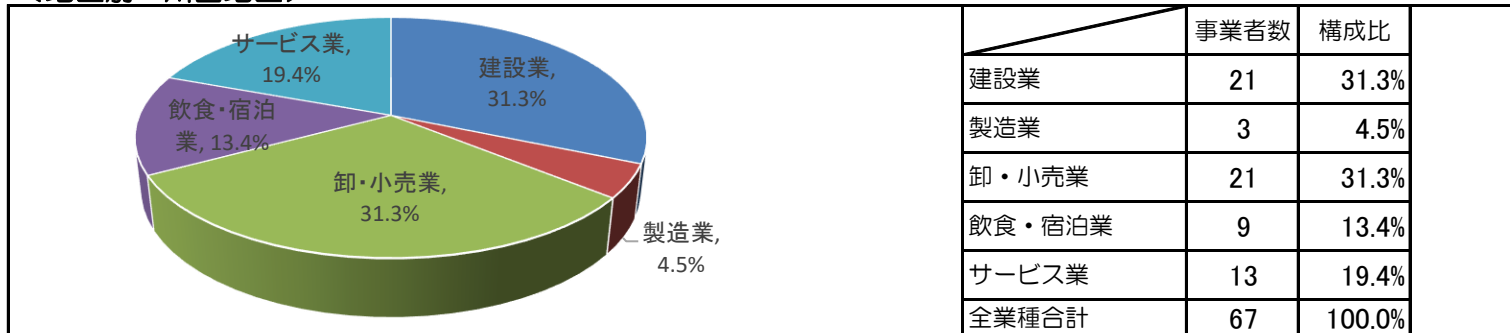
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



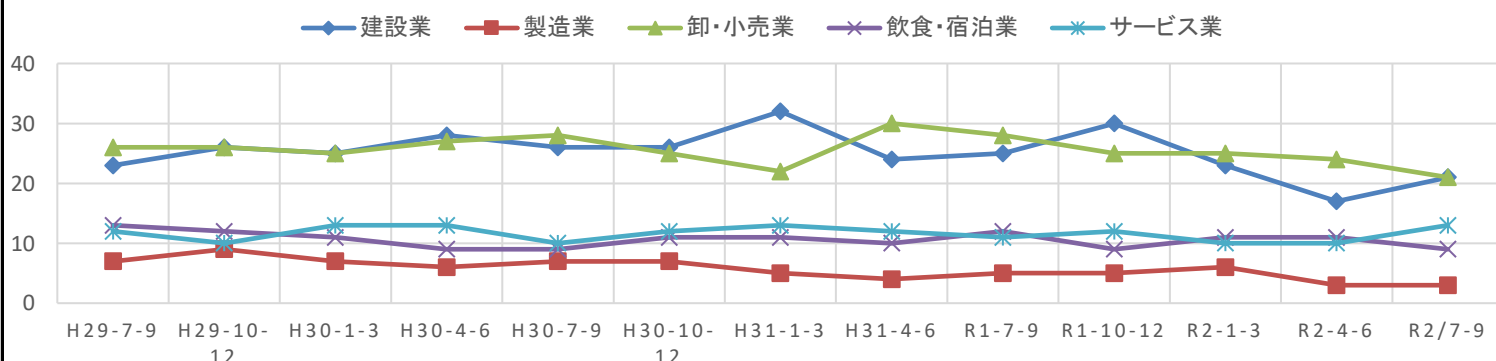
<コメント>

今年度より、十日町商工会議所と十日町市内5商工会地区のデータを統合しており、多くのサンプル数を集計することでより正確な調査結果が得られるものとなっている。回答事業所数も前回調査時よりも10事業所増えており、今後できるだけ増やしてゆきたい。また、業種別構成割合もバラツキが少なくなっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

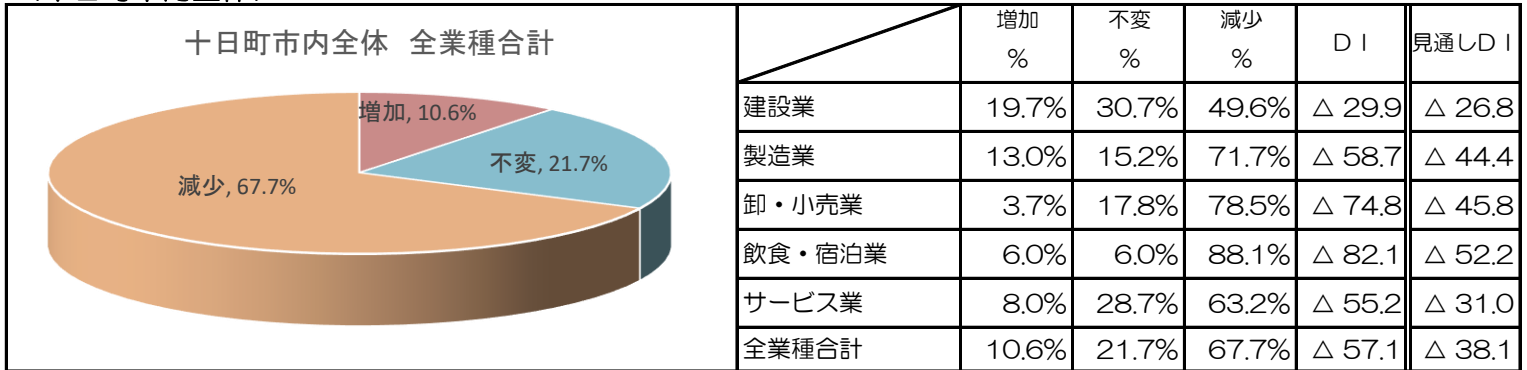
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、67社(回収率67%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

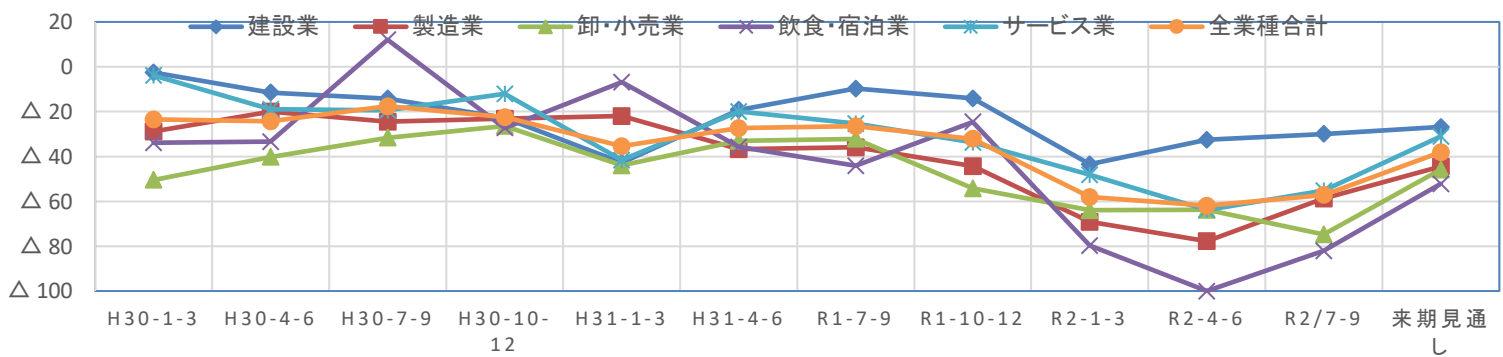
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



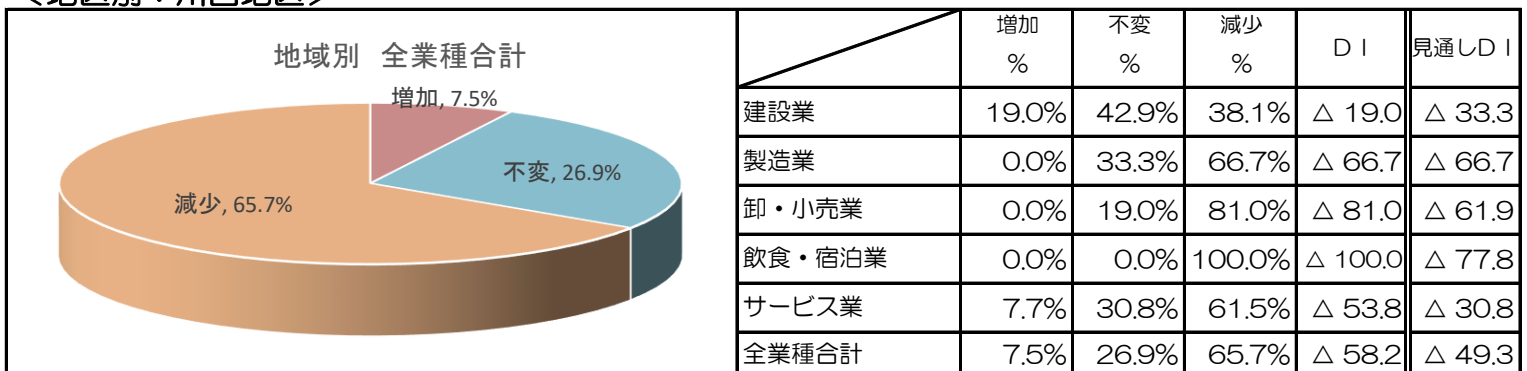
業種別売上の推移（市内全体）



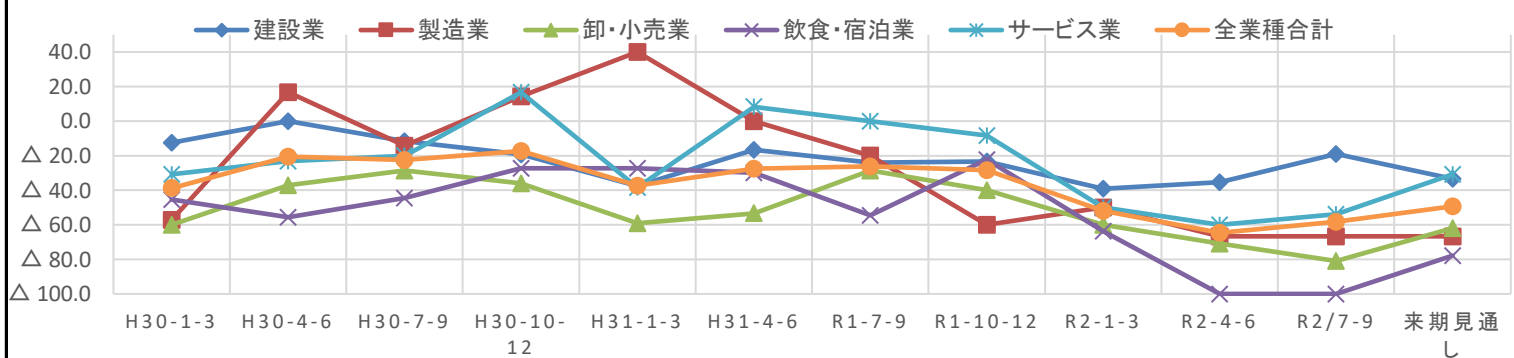
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△57.1ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント増加となっている。前期調査時は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んでいたが、卸・小売業以外の業種で増加が示されており、更に来期見通しでは全ての業種で増加予測されている。今後もプレミアム商品券事業も予定されており、予測通りの結果が出ることを期待したい。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



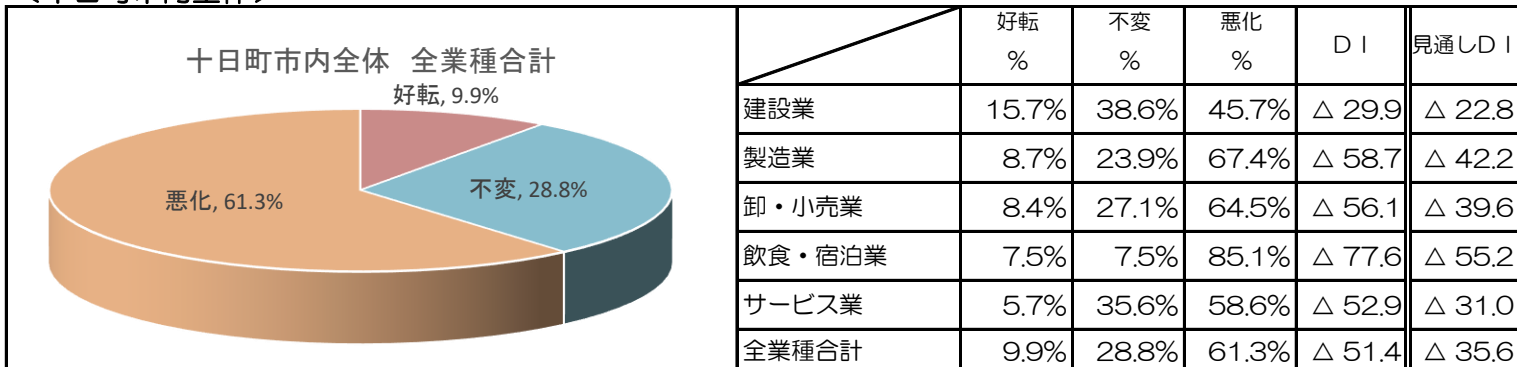
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△58.2ポイントの減少となっている。コロナウィルスの影響により、前回調査から全業種で売上が減少している。来期の見通しでは全業種で8.9ポイントの回復を予想している。

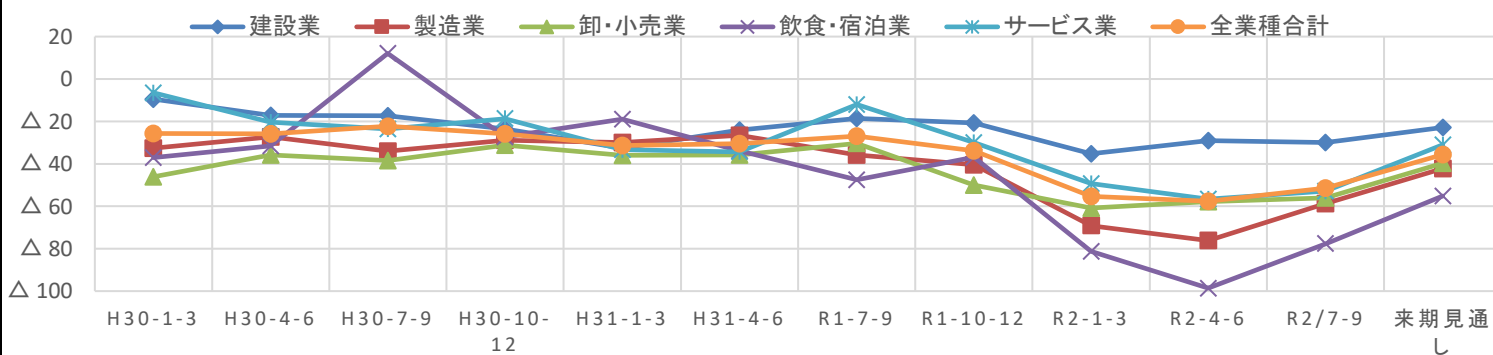
## 2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



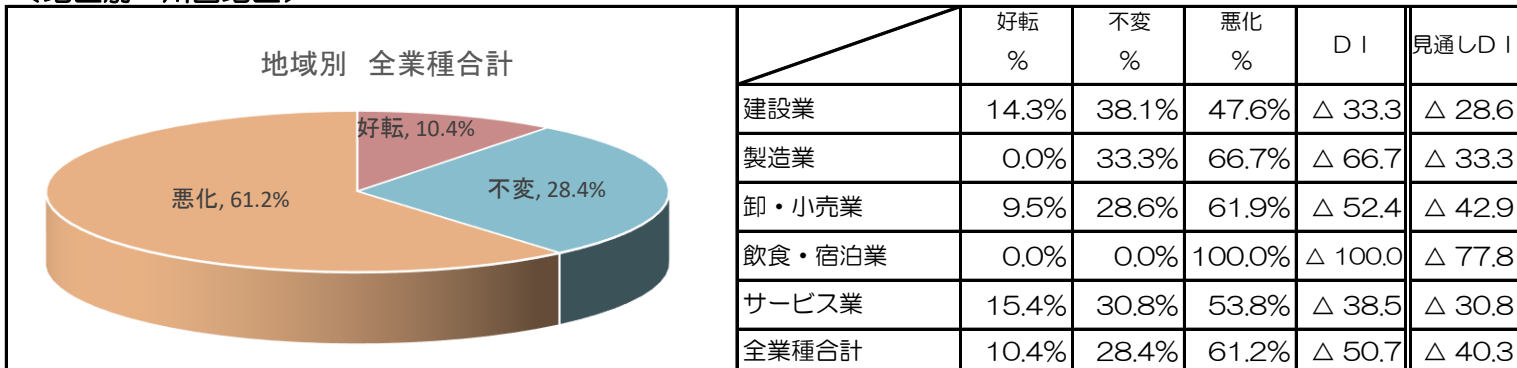
### 業種別採算の推移(市内全体)



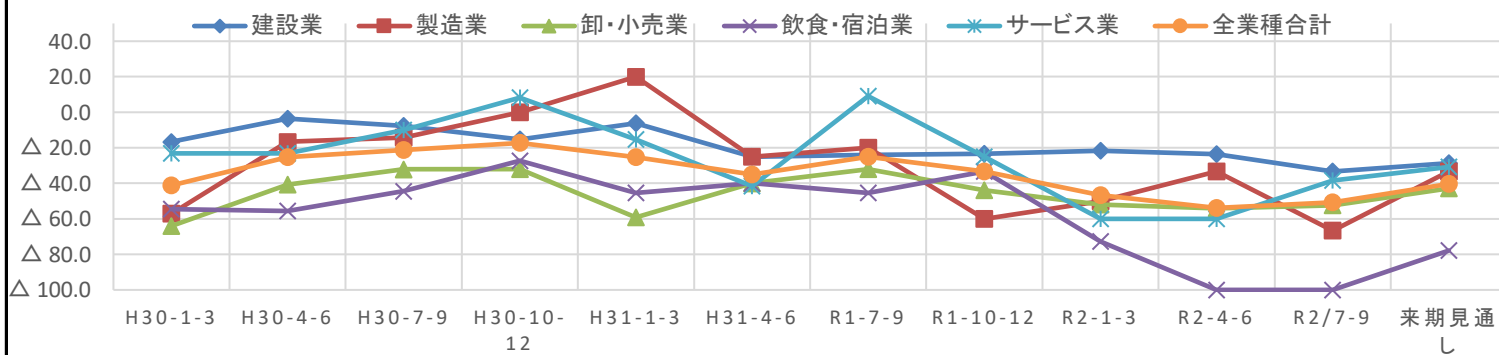
### <コメント>

十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△51.4ポイントで、前回調査時よりも6.2ポイント好転している。採算状況は売上状況に比例する傾向にあることから、推移波形も売上状況に類似している。売上状況では唯一卸・小売業にて前期比減少であったが、採算業況では卸・小売業も前期より1.7ポイント好転している。売上状況同様、来期見通しの予測どおりとなるよう期待したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



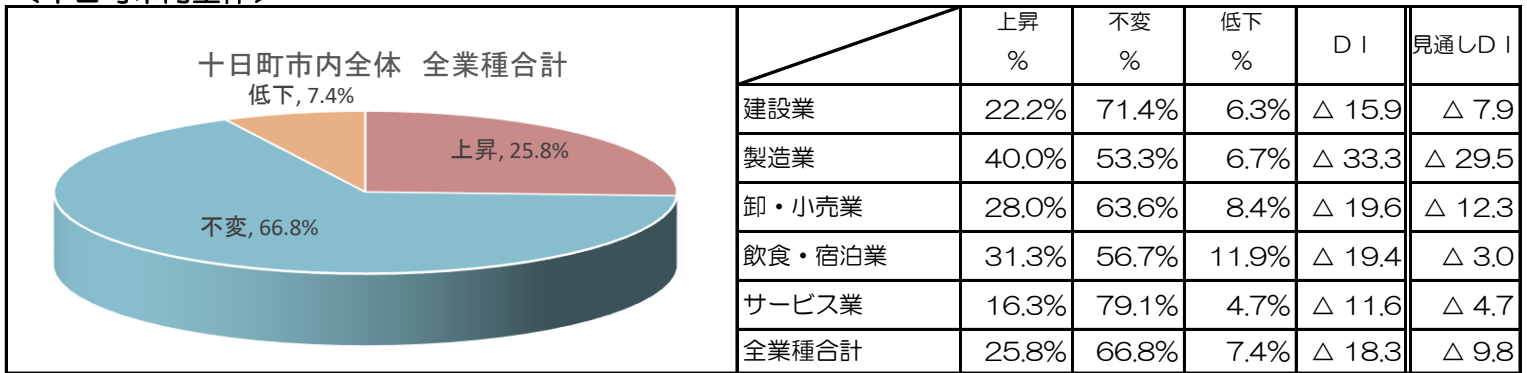
### <コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較し、全業種で△50.7ポイントの悪化となっている。建設業及びサービス業は比較的減少幅は少ないと言えるが、その他業種では大きな悪化が示されている。来期見通しでは10.4ポイントの回復を見込んでいる。

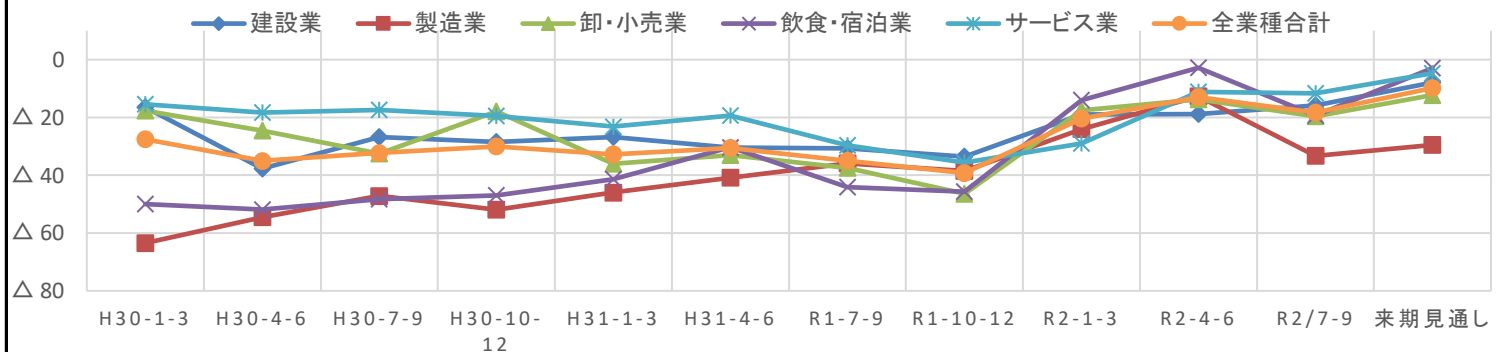
### 3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>



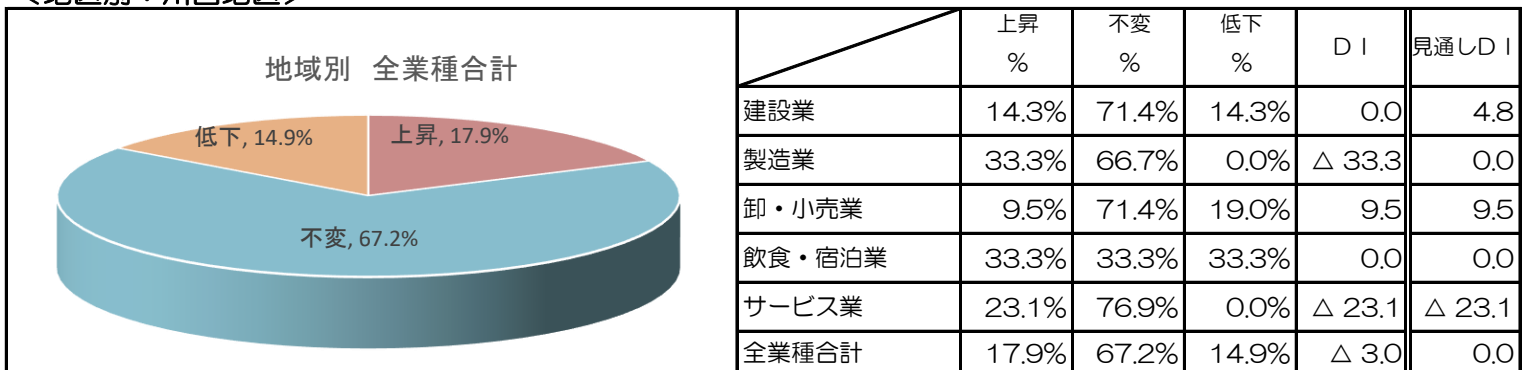
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



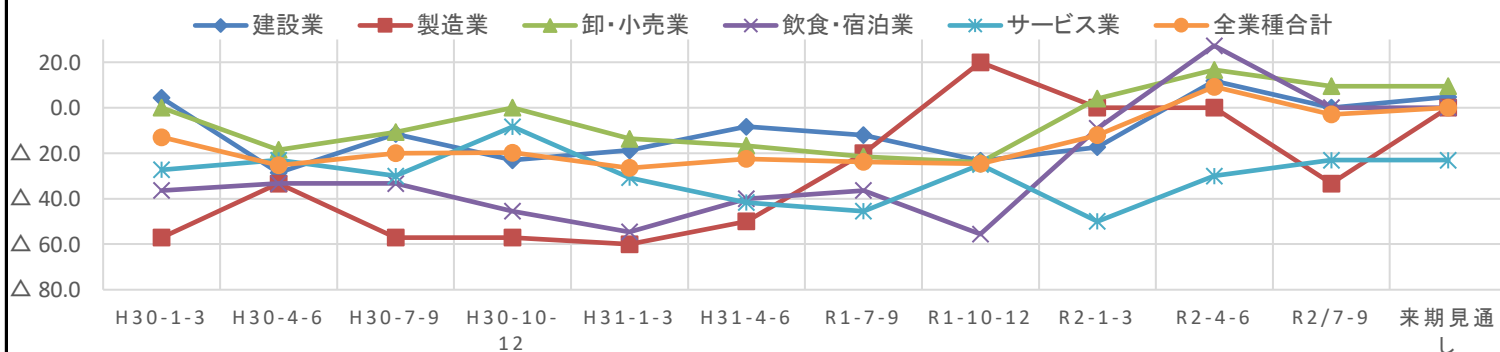
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△18.3ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント上昇している。製造業と飲食・宿泊業にて単価上昇が見られ、前回調査時の来期予測に反していたことがわかる。ただし、来期予測では全ての業種で今期よりも低下することが予測されており、予測どおりの結果となるよう期待したい。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



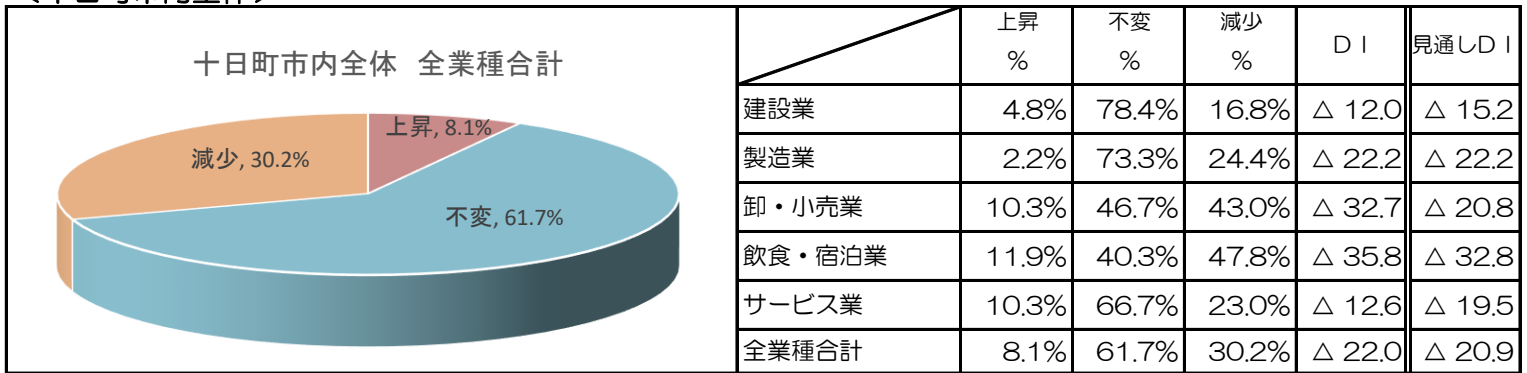
#### <コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して、△3.0ポイントの悪化を示しており、特に製造業、飲食・宿泊業における仕入単価の上昇が示されている。一方で卸・小売業では9.5ポイントの改善を示している。来期見通しでは3.0ポイントの改善との見方がなされている。

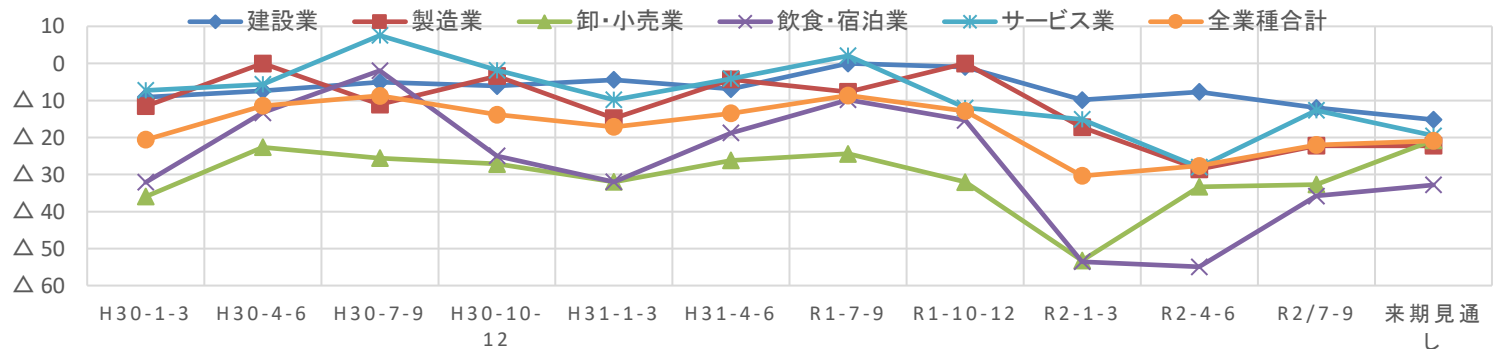
#### 4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>



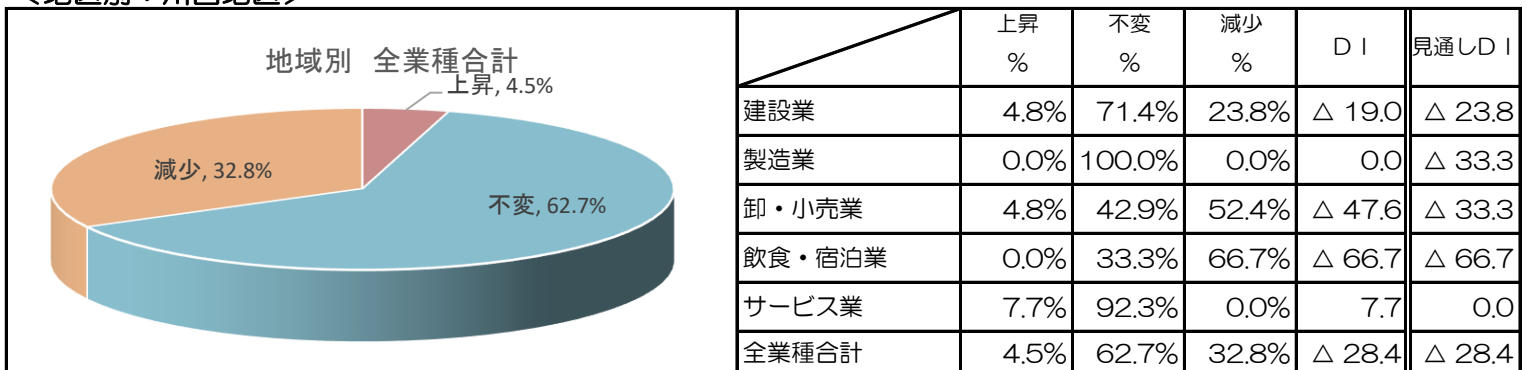
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



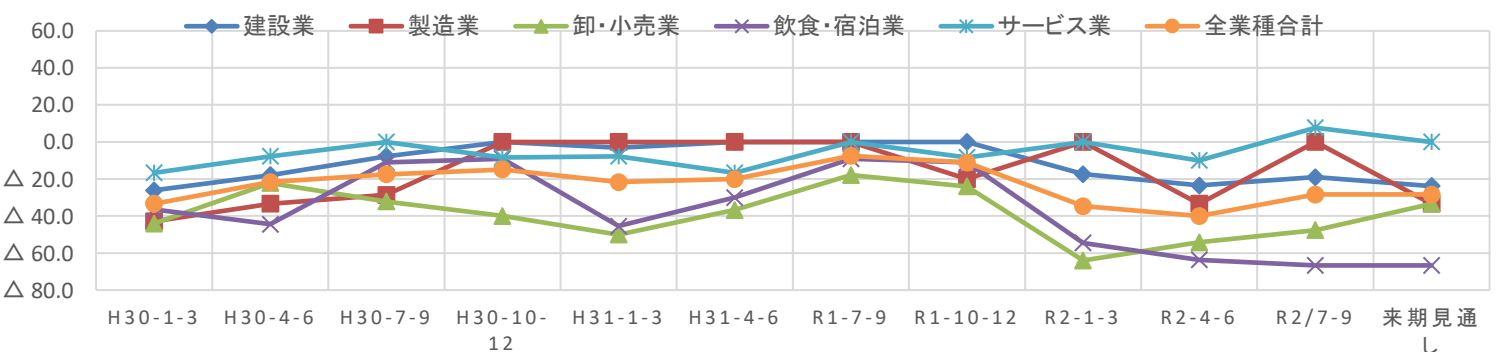
##### <コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値で△22.0ポイントで、前回調査時よりも5.7ポイント上昇している。飲食・宿泊業とサービス業にて上昇が見られ、前期のコロナ感染症の影響から少しは脱していることと推測する。来期見通しにおいては、卸・小売業と飲食・宿泊業にて上昇予測があるものの、建設業とサービス業で減少予測があり全業種では今期同様と思われる。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



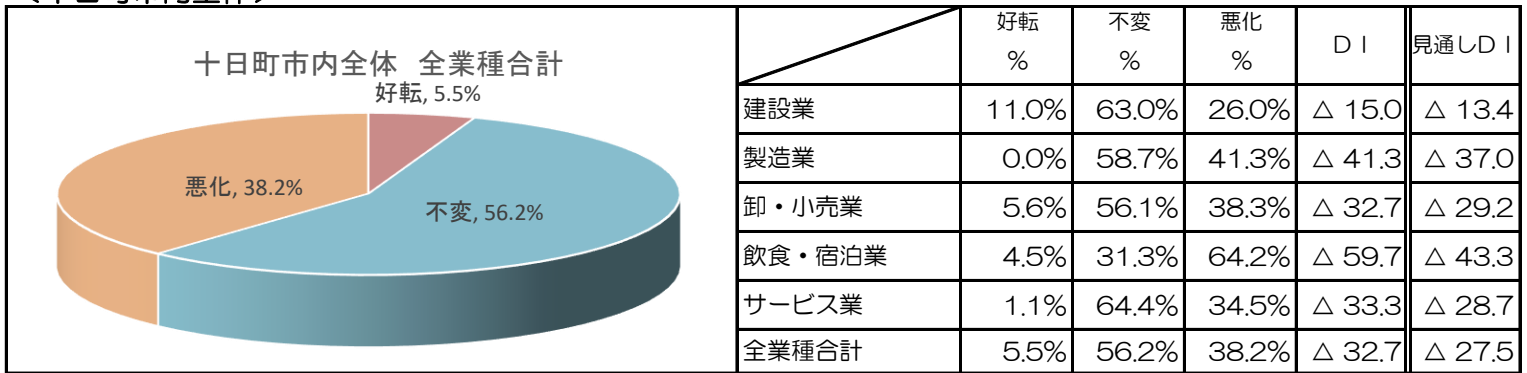
##### <コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△28.4ポイントの悪化となっており、前回調査同様に卸・小売業と飲食・宿泊業において大きなマイナスを示しているが、サービス業では客単価上昇の傾向にある。来期見通しでは全体を通して現状のDIと不変であると予想されている。

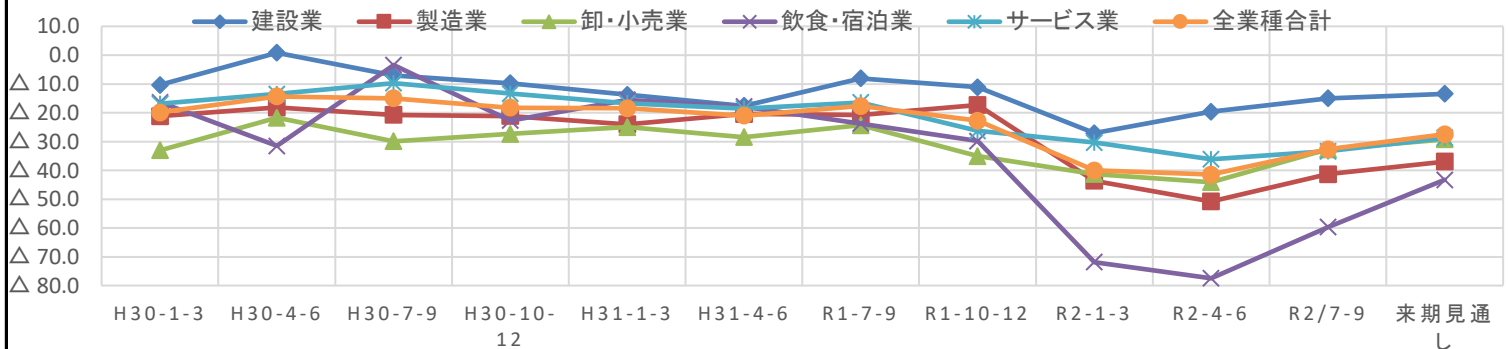
## 5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



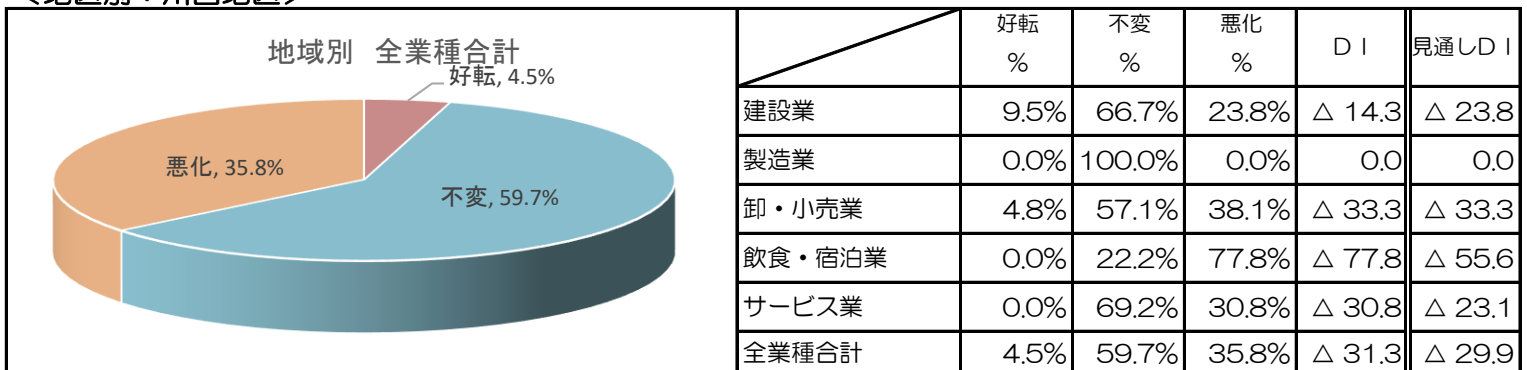
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



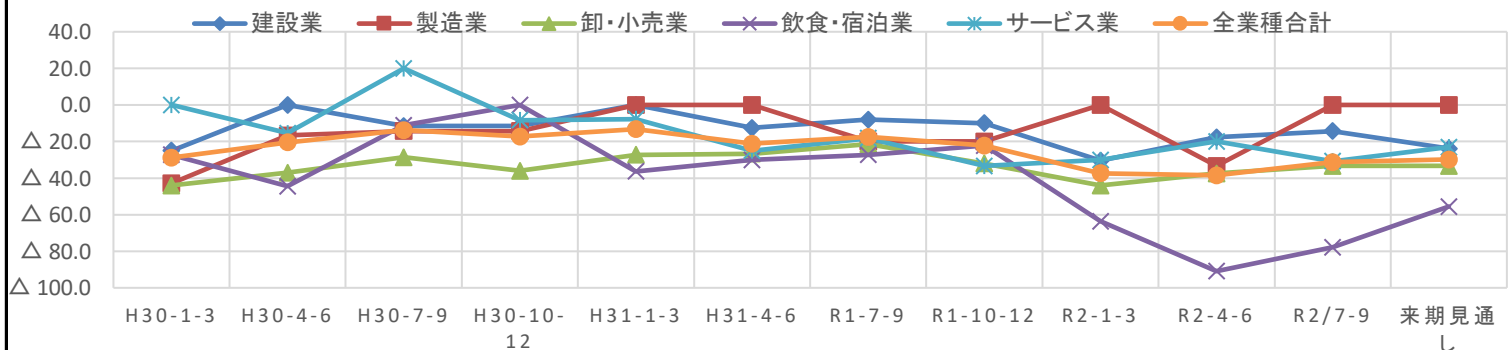
### <コメント>

十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△32.7ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント好転している。推移グラフの波形で分かるとおり、全ての業種にて前回調査時よりも好転しており、さらに来期見通しも今期よりも好転するものと予測されている。前期、前々期の悪化状況から改善傾向にあるものの、年末資金がショートしないよう事業所ごとの内容を把握したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



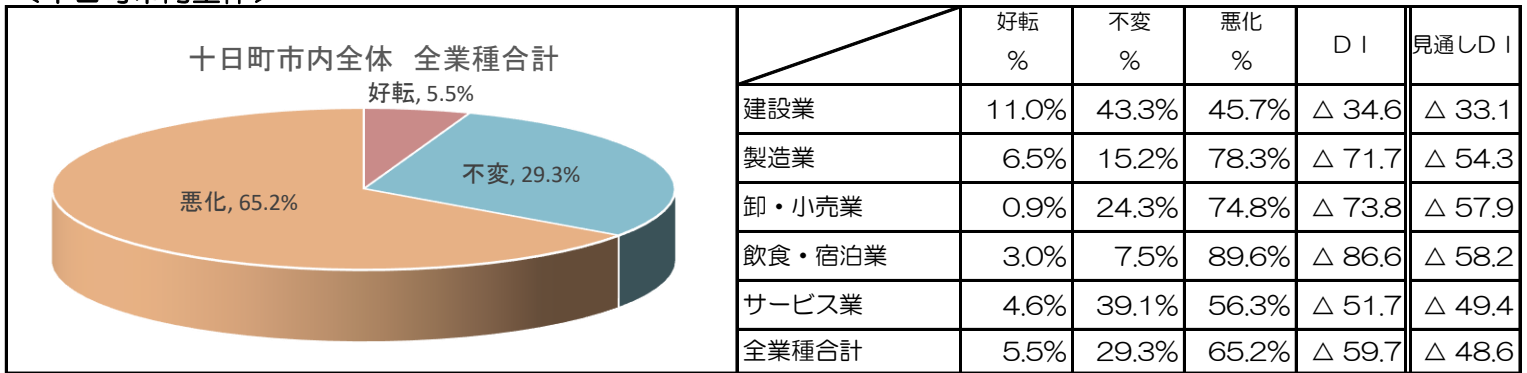
### <コメント>

川西地域の資金繰りは△31.3ポイントの悪化であり、全体的に悪化との回答が多い中、製造業では不変であるとの見方を示した。また、飲食・宿泊業では徐々に資金繰りが回復傾向にあるといえる。来期見通しは1.4ポイントの改善を予想している。

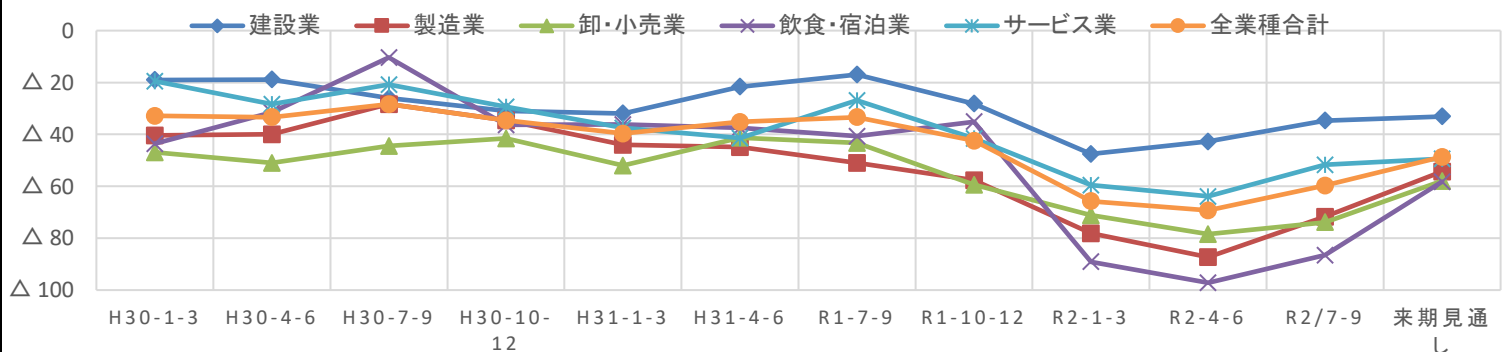
## 6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



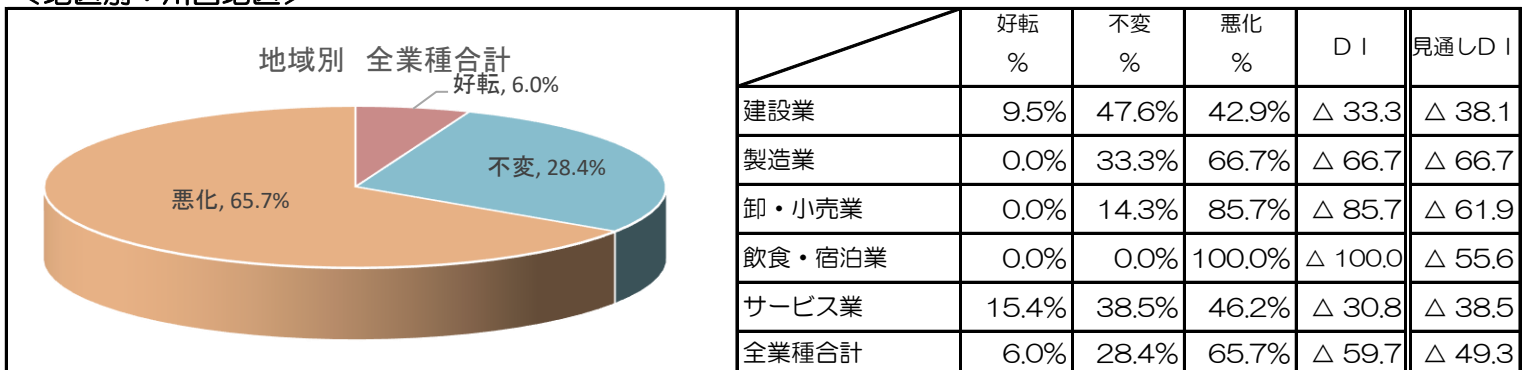
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



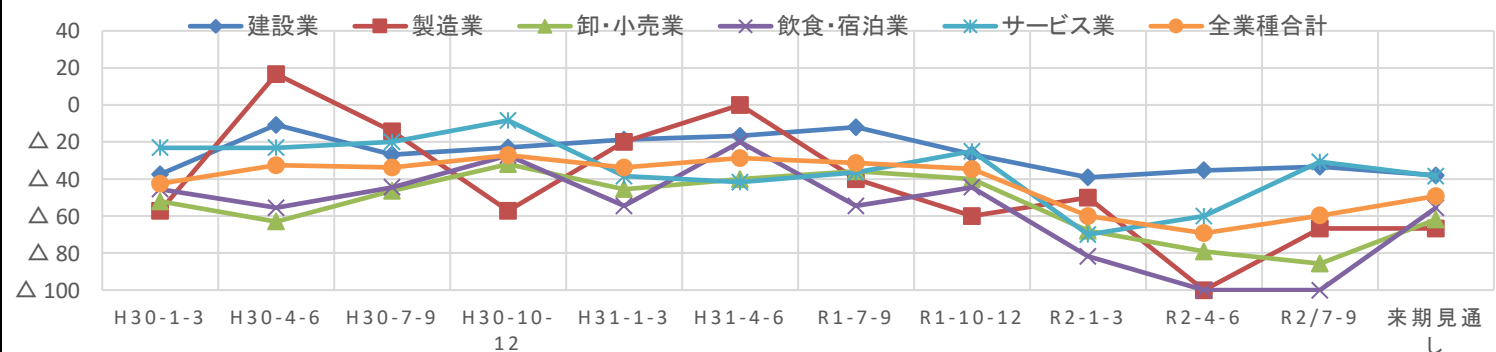
### <コメント>

十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△59.7ポイントで、前回調査時よりも9.6ポイント好転となっている。推移グラフで分かるとおり、全業種で好転傾向にあるものの、3分の2の事業所で悪化回答されている。来期見通しでは、全業種にて今期よりも好転するものと予測されており、予測どおりの結果が出ることに期待したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)



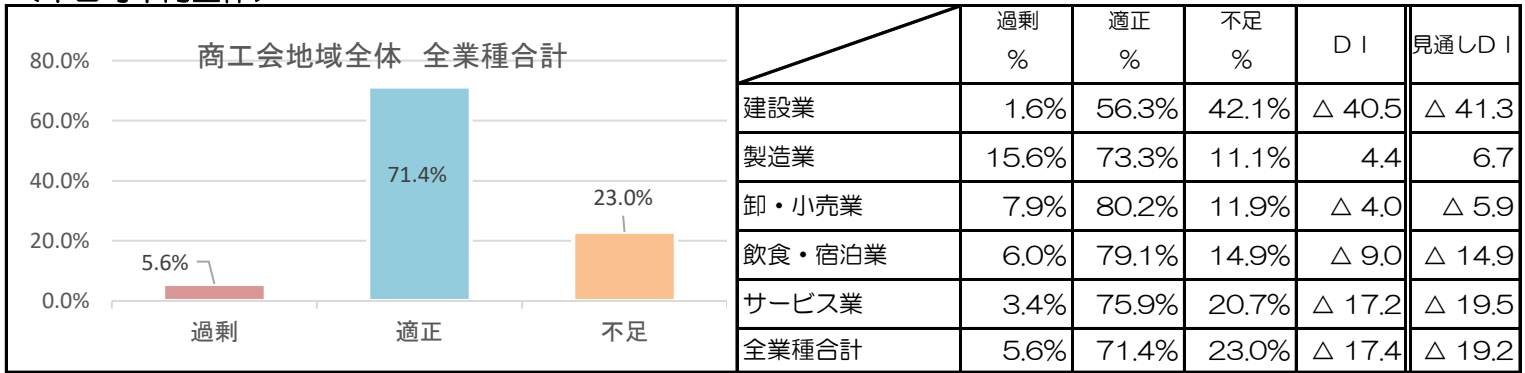
### <コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△59.7ポイントの悪化を示す結果となっている。中でも卸・小売業、飲食・宿泊業の景況感悪化が顕著となっている。来期見通しとしては全体的に10.4ポイントの改善が予想されている。

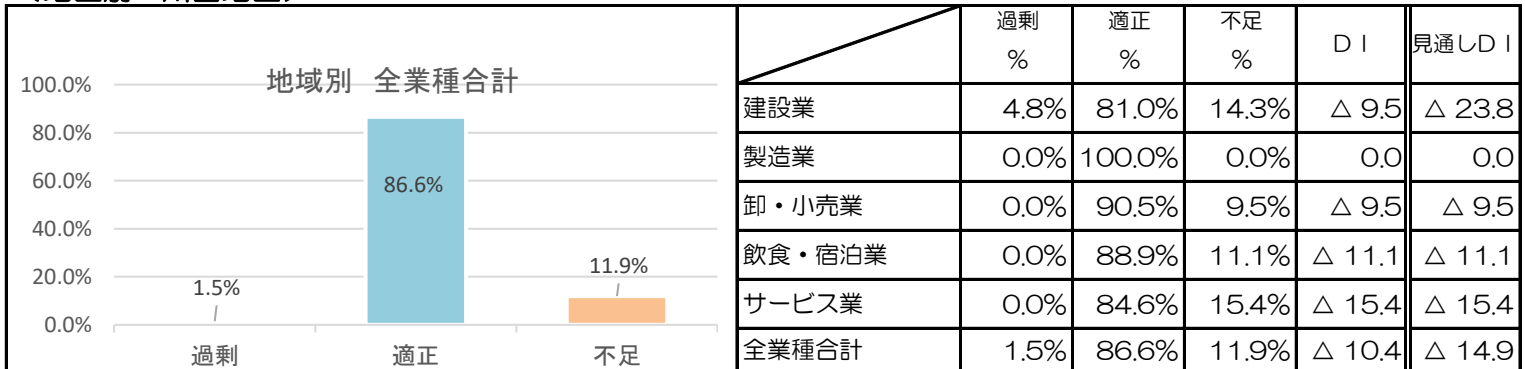
7. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

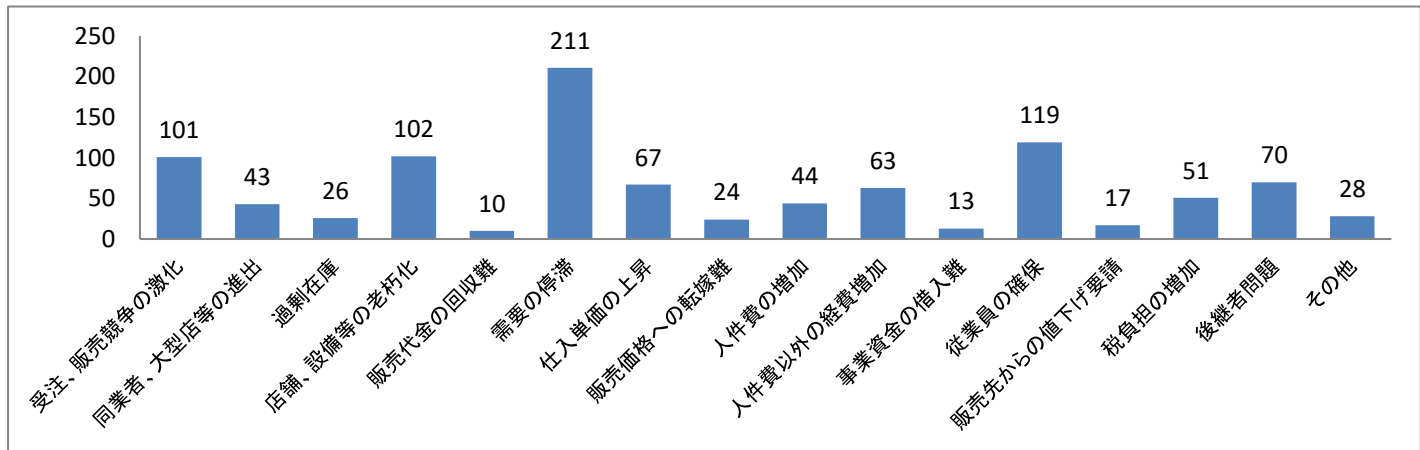


<コメント>

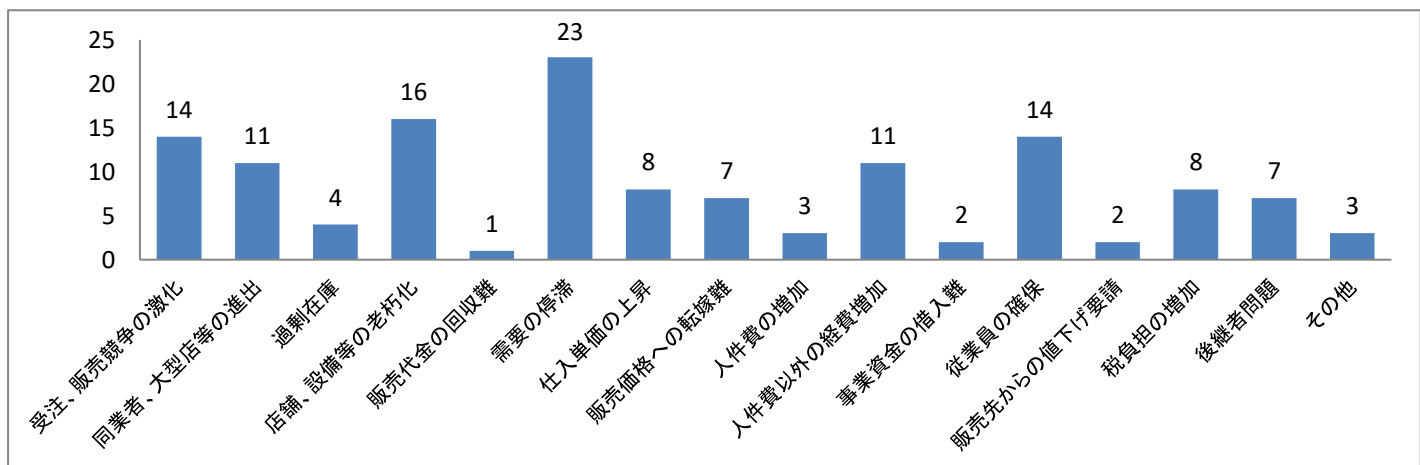
今期の従業員数（雇用動向）は、市内全体で5.6%の過剰と23.0%の不足となっている。前回調査時よりも過剰が2.6%減り、不足が2.8%増加している。川西地区の状況は、1.5%の過剰と11.9%の不足であり、製造業以外の業種で不足の傾向が伺える。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「従業員の確保」3位が「店舗、設備の老朽化」であった。4位となっている「受注、販売競争の激化」も3位と1ポイント差であり、この4項目が問題視されている。川西地区の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「店舗、設備の老朽化」、3位が「受注、販売競争の激化」「従業員の確保」であった。



## 9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b> 建設業においては前回調査同様、他業種と比較して新型コロナウイルス感染拡大の影響による悪化傾向が少ない状況にある。また、経営上の問題点としては1位「従業員の確保」2位「店舗、設備の老朽化」及び「需要の停滞」が挙げられている。前回調査でも「従業員の確保」が1位であり、人材不足を課題とする事業所が増加している傾向にあるといえる。</p>
<p><b>【製造業】</b> 製造業においては売上及び採算の悪化が表れており、今後の見通しの上でも悪化との見方が出ている。資金繰りは不変であるため、制度融資等の資金調達が円滑に進んでいるものと見受けられる。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」、「過剰在庫」、「店舗、設備等の老朽化」を挙げており、情勢による受注の減少や生産調整による影響が出ているものと見られる。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b> 卸・小売業においては全体的に大きな悪化との回答が多くなっているが、仕入単価については軽減の兆しが見られる。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「同業者、大型店等の進出」が挙げられ、順位について前回調査と同様の内容となっている。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b> 飲食・宿泊業においては全般的に大きな悪化傾向となっている。経営上の問題点は1位「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」、「販売価格への転嫁難」3位「店舗設備の老朽化」等が挙げられている。売上や採算等の項目において調査対象事業者の全てが減少を示す状態にあることは、前回と同様の結果となっている。</p>
<p><b>【サービス業】</b> サービス業も全体的に悪化との回答が多いが、販売(客)単価では全業種の中で唯一改善傾向となっている。経営上の問題点としては前回同様に1位である「店舗、設備等の老朽化」、「需要の停滞」、「従業員の確保」に次いで、2位は「受注、販売競争の激化」「人件費以外の経費増加」が挙げられており、サービス業内では事業所ごとに幅広く問題点が分散している現状にある。</p>